

記入例1 授業料減免後の納入額が、貸付限度額を上回る場合

高等教育の修学支援新制度利用者修学費用の使途計算書

※養成校の規定する額／学則による額／養成校に納付する額

養成校への 学費種類 ※	養成校が規定 する金額 (a)	修学支援新制度 による減免額 (b)	給付型 奨学金 (c)	差引額 (d) (a-b-c)	
入学金	300,000円	50,000円	円	250,000円	250,000円
授業料	2,000,000円	500,000円	円	1,500,000円	1,900,000円
教材費	100,000円	0円	円	100,000円	
施設費	100,000円	0円	円	100,000円	
実習費	100,000円	0円	円	100,000円	
その他	100,000円	0円	円	100,000円	
計	2,700,000円	550,000円	円	2,150,000円	2,150,000円



計算結果

修学資金貸付金 貸付費目	修学資金貸付金 申請額
①入学準備金 (上限20万円)	200,000円
②修学資金 (上限月額5万円)	<p>[計算方法(月額)] $1,900,000円 \div 24か月 = 79,166円$ $\rightarrow 50,000円(月額)$</p> <p>[計算方法(総額)] $月額50,000円 \times 24か月 = 1,200,000円(総額)$</p> <p>↓</p> <p>月額 50,000円(上限のため) 総額 1,200,000円(上限のため)</p>
③生活費加算 (該当者のみ)	0円
④就職準備金 (上限20万円)	200,000円
貸付金申請額合計	1,600,000円